

第4号議案

平成24年度事業計画（案）並びに平成24年度収支予算（案）承認の件

総括（喜多俊之理事長）

日本インテリアデザイナー協会の今後の発展を確立させるという目標は、前年度に続き一つの目標となっている。

「新・暮らしデザイン」というテーマで新しい推進する計画を立ち上げたい。

大きく衰退した家具産業界やインテリア・テキスタイル業界のただならない状態となっている。衰退から消滅に向かう日本古来の伝統工芸産業の様子も特異な状況となっているのが現状である。そんな中で、それらを活性化させるためには、日常の暮らしの向上という大きなマーケットに対して注目する必要がある。質の高い日常の暮らしは内需拡大を復活させると共に、これらのインテリア産業界の活性化に欠かせない土壌である。

私たち会員が人々の質の高い生活に貢献できれば、大きな社会的役割りを果たせるのではないだろうか。

商業空間においてはこれまで世界的な地位を築き上げた日本、また、経済成長期に大きな成長を遂げたオフィス空間におけるイノベーションなど、これまで日本のインテリア産業界は大きな役割りを果たしてきた。今、アジアの経済発展に伴う、インテリア産業界の大きな向上は、注目の的となっている。

そのような中で、日本のインテリア産業界の低迷から、新しい方向に向かうための行動が必要となっているのが現在の様子である。

高度化した衣・食から、いよいよ住環境産業の活性化が最大テーマとなっているのが私たち日本の今の姿である。

インテリアデザイナー協会の役割りは大きな期待をもたれている。

平成24年度事業計画（案）は、公益法人制度改革申請を鑑み、事業部門（公益目的事業、共益目的事業、広報事業）、管理部門（財務、公益法人制度改革準備、事務局）等きめ細かな活動が行える、委員会制とプロジェクト制を導入し、年次テーマ「新・暮らしデザイン」に沿った事業計画と事業体制を立ち上げる。

事業活動

事業部門

1. 公益目的事業（事業長：川上玲子、副事業長：岩倉榮利、木辺智子）

「新・暮らしデザイン」をテーマに国内外のインテリアデザインに関する知識と経験の交流と活用により、人々の生活文化の向上と産業の発展に寄与する事業

（事業領域）

「住空間、オフィス空間、商空間、公共空間等インテリアデザイン領域」に関わる事業。

（事業カテゴリー）

事業区分は、「健康・福祉・環境」/「文化・地域・国際」/「子供・教育・研究」の3カテゴリー。

1) 特別事業プロジェクト（喜多俊之理事長、石川 尚・小野由記子副理事長）

1. 国内企業との連携強化及び特別活動協賛の国内企業・団体とする。
2. プレミアムツアー企画/国際見本市見学・インテリア産業視察等海外ツアー及び現地

法人やデザイナーとのフォーラム企画。

3. プレミアムセミナー企画／インテリア関連企業ショールームを会場とし、その活性化にも役立てる最新の情報を発信するセミナー。
4. ビジネスフォーラム企画／インテリア関連企業と共に企画実施するビジネスフォーラム。

2) 選考事業プロジェクト（川上玲子理事）

2012年5月 2014年 JID 賞ビエンナーレ（内容・名称変更等がある場合が含まれる）
応募要項検討（募集対象・領域・広報方式等）。

2012年6月 ポスターデザイン、外注先・予算との検討。

2012年11月～12月 応募要項決定、印刷。

2013年2月 応募要項配布及び広報活動。

25年度（来期2013年）

2013年5月～6月募集、以後審査、2013年11月～12月発表、展示会表彰式は2014年1月予定。

3) 企画事業プロジェクト（長岡貞夫理事）

「暮らしと食・しつらい・デザイン」企画で一般大衆への指針を計画実施。

4) 国際事業プロジェクト（小野由記子理事）

1. ifi、APSDA、及び近隣諸国のデザイン活動が活発であり、協会として今後もグローバルな活動をしていく、特に ifi に関しては情報を入手し公開していく。

2. 共益目的事業（事業長：池田和修理事 副事業長：小野由記子理事）

国内外のインテリアデザインに関わる人材育成と組織管理を行い、デザイン価値の重要性を発信する事業の企画を行う。

1) 総務組織委員会（池田和修理事）

1. 第44回通常総会及び懇親会の開催。
2. 2013年ニューイヤーズパーティの開催。
3. 福利厚生ベネフィットワンの契約更新。
4. JID ビジネスパートナーズの参加賛助会員サポート及び協議会開催。
5. JID ビジネスパートナーズのメールマガジン等検討。
6. デザイン8団体（D-8）デザイン保護研究会参加及び知的財産権に関する調査。
7. 会員拡大及びJID活性化の推進と手段の検討。その他。

3. 広報事業プロジェクト（事業長 瀬戸 昇理事 副事業長 石川 尚）

1) 広報事業プロジェクト（瀬戸 昇理事）

「新・暮らしデザイン」JIDブランディング3カ年計画

前年度からの『日本インテリアデザイナー協会の新しい取り組みと新しい動き』を基に『ホームページと会員ページの活性化』と、『広報（PR=Public Relations）活動の再構築を計り、広く国内外の生活者と会員が繋がる広報活動』を目指した3カ年活動計画の2年目と位置づけ活動する。

1. JID WEB サイト「仮称：DESIGN J」再構築（3カ年計画）の推進。

2. 活動内容の見直しと実行。

広報(PR= Public Relations)活動の再構築。Web site のコンテンツ見直しと本部・エリアサイトの融合・Web JID News の検証と再編。

プレスリリースの実施（本部事務局との調整要）

エンドユーザー（国内外部）と会員（内部）が繋がる広報活動へシフト。

3. 委員会組織の構築

本部・エリア連動活動を目的とし、各エリア広報委員会による本部広報委員会を構成し、24年度全体委員会開催（2回）を予定。新たな人材の発掘に努める。

管理部門

1. 財務委員会（長岡貞夫理事）

平成24年度から、新たに財務委員会を設置した。理由の一つは今年が公益法人格の申請と認可の成否を問う最終年度であり、財務体質改善と強化の体制づくりが急務となった。公益のみならず共益事業の展開や運用に必要な資源は、正会員・賛助会員の会費と、4エリア（地域）でのイベント収入、当該事業に賛同する企業、団体等から調達した多様な資金によって賄われている。この貴重な原資を有効且つ効率的に、そして透明性のある運用と、創意を結集して予算を策定すべきである。今年度の財務委員会の指針「入りを計り」「出を制す」に沿って、資金環境の良好な基盤づくりと安定的な資金調達によって、限りある原資の健全で節度ある運用で、公益、共益事業の継続性ある発展に資することとする。

1. 年度予算大綱（枠組み、公益/共益のたまかな仕分け）の策定。
2. 年度予算（事務局作成）の吟味と調整、査定等。[予算総額－事務局等の管理費用を含んだ収支総額のうち、50%以上が公益目的支出条件の試算]
3. 資金調達のためのプログラム「入りを計る」数値目標の設定と進捗状況検証等。

2. 公益法人制度改革準備委員会（石川 尚副理事長）

平成25年11月末日迄に新法人移行手続きを終えなければならない公益法人制度改革に関する申請立案と準備。

3. 事務局運営委員会（川崎泰秀理事）

公益法人制度改革に伴う事務局運営のサポート、提言。

4. インテリア環境協議会対応委員会（長岡貞夫理事 石川 尚副理事長）

インテリア環境協議会準備委員会の検討、対応。

エリア（地域）事業

従来の事業支部をエリアとして区分し、きめ細かい地域枠組みを図る

1. 北・東日本エリア（地域）（石川 尚副理事長・井出昭子エリア長）

平成24年度は、新組織、公益性の高い新規事業を実行するにあたり新たに変わるチャンスとして受け止めたいと思う。先人達が、築いてきたJIDの歴史と伝統を基に、社会環境の変化に適合した新たな“意識改革”をする時ではないだろうか。

私達の“意識改革”は、JIDが将来も継続的に日本の生活文化と産業経済の発展・向上に貢

献出来る、強い組織の基盤確立のために提案をする。

1. お互いにオープンな姿勢を身につけ情報を共有する。
2. 社会動向、JID ビジョンや JID 組織の仕組みをより理解する。
3. スローガン『新・暮らしデザイン』プロジェクトの基、JID 活動を会員 1 人 1 人が支える。

平成 24 年度事業計画（案）は

① 少子高齢化（人的要素）、② 社会・環境・資源（モノ・コト要素）、③ より広範な文化的多様性、の 3 要素を整理。新規事業立案の基盤とした。

公益事業、共益事業、広報事業等に各プロジェクトを分類し、さらにスローガン『新・暮らしデザイン』事業をサポートするプロジェクトも立ち上げる。

楽しく活動に参加出来る環境を整え、広報の充実にも取り組んでいく。

会員の皆様の積極的な JID 活動参加により大いなる成果を期待する。

公益目的事業（井出昭子事業長）

国内外のインテリアデザインに関する知識と経験の交流と活用により、人々の生活文化の向上と産業の発展に寄与する事業

1. 「からだところのデザイン」プロジェクト（大野美代子リーダー）

1. 「Good Over 50s!のびやかな暮らしの方法」セミナー企画と実施。
2. 高齢者用椅子の開発継続。

2. 「東京杉」プロジェクト（小澤盛男リーダー）

1. 国産材の活用を軸に「木づかい運動」での JID の役割を探る。セミナー企画と実施。
2. 『新・暮らしデザイン』の中での国産材（杉・檜）の活用策を探る。（株）トーセン（栃木県）の見学会企画実施。
3. 檜原村共同企画 NPO 法人フジの森、森のデザイン学校開設 杉・檜材で光と影をテーマに照明制作（7 講座）開催及び座談会予定。

3. 「キッズデザイン」プロジェクト（小野上勝志リーダー）

1. キッズデザインワークショップ「大きな夢のつまった小さなイス作り」を 7 月に開催予定（リビングデザインセンター OZONE との共同企画）。
2. キッズ対象イス作りの教材キット販売商品化の研究。

平成 23 年度事業、子ども夢基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成金事業「あつまれキッズデザイナー“森からのめぐみを大切にチャレンジイス作り”」は 85 万 5 千円の助成金を受け、参加費、協賛金、自己資金 計 145 万円で実施した。

平成 24 年度事業計画、キッズ・デザインワークショップ「大きな夢のつまった小さなイス作り」につきましては当協会の暮らしデザイン事業の子ども・教育・研究のカテゴリーとして、昨年同等の規模でリビングデザインセンター OZONE “OZONE SUMMER FESTA2012” 企画と連動し継続事業として総予算 100 万円で実施する。

これは事業の柱の一つとして育成し、将来、本支部に亘る公益事業の確立を目指す。

今年度のプロジェクトの資金面は、公的助成金を受けないで賛助会員及び企業に協賛金を仰ぐことになるので、昨年度の資金構成に鑑み自己資金として 30 万円を平成 24 年度関東事業支部収支予算(案)に予算措置を取り、活動促進を図る。

4. デザインセミナー「日本の意匠『温故知新』物語」プロジェクト(池田和修リーダー)

1. 日本の意匠その源泉を探り Next Design のヒントを感じるセミナー第 4 話の実施及び第 5 話の企画。

2. 展覧会、出版企画等の研究。

5. 「新・暮らしデザイン」研究プロジェクト（長岡貞夫リーダー）

1. 資源・サステナブルの視点からインテリアエレメント（家具など）のデザインの生命力と寿命について考察する。
2. 本部事業『新・暮らしデザイン』プレミアムプロジェクトの対応研究。
「暮らし・行動（活動）」と「モノ・空間」の感性知覚との関わり等。

公益目的事業（池田和修事業長）

国内外のインテリアデザインに関わる人材育成と組織管理を行いデザイン価値の重要性を発信する事業。

1. 第19回総会の開催及び財務・管理に関する支部運営の実施。
2. JID - ACT 関東プロジェクト作品展及びセミナーの企画検討。
3. 会員活動活性化集会「サロン JID 関東」、「新入会員サポートサロン」の企画及び実施。
4. 第18回「デザイン職人『四方山話』プロジェクト」会員向けスキルアップセミナーの企画及び実施。

広報事業（櫻井良樹事業長）

国内外の優秀なインテリアデザインを紹介及びデザイン情報を発信することにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業

1. ホームページの運営。
新規サーバーへのデータ移行。
ニュースページ更新、会員情報更新、事業案内、報告の更新。
2. プレスリリース活動及びプレス対応。
3. 事業記録撮影
「日本の意匠『温故知新』物語」第4話、第5話、第18回デザイン職人「四方山話」、キッズデザインワークショップ、その他のプロジェクトを予定。
4. JID ニュース 256号～259号関東ページ原稿依頼・回収・入稿。
5. 広報全体会議
本部・支部 Web サーバーの統合、本部 Mail サーバーの再設定、本部ホームページのリニューアル、対外広報一記者会見等の準備・実施。

2. 中日本エリア（地域）（木辺智子理事・小林 修支部長）

公益目的事業

国際交流委員会

1. 中部デザイン団体協議会、理事会、各委員会へ出席。
2. 中部インテリアデザイン連絡会定例会出席（隔月1回）。
3. 大阪「リビング&デザイン」展への参加交流。
4. JID 関連事業への会員の積極的参加を各委員会との連携をとり企画推進。

事業委員会

1. 第4回「インテリアデザインの現場」JID 会員及び企業発表会と懇談会開催。
2. 中部ものづくり探訪を通じて地元企業との交流企画。
3. 国際デザインセンター20周年企画を CCDO との連携（JID 主体による市民デザインフォーラム及びデザイン交流会開催企画）。
4. 「学校快適委員会」部会開催。

5. 「JID-ACT の再生」推進部会。

6. JID 中部学生賞の授与。

共催・後援事業

1. 中部デザイン団体競技改革委員会の事業活動協力。

2. 中部インテリアデザイン連絡会協力（新年互例会及びリレーセミナー他）。

3. 地場産業との地域活性化計画への後援事業検討。

共益目的事業

総務組織委員会

1. 支部定期総会（名古屋）定例会及び役員会の実施（月 1 回）。会員情報の把握と連絡等。

広報委員会

1. 事業支部ホームページの整備、更新、メール通信等、セミナー開催。

2. 本部事業による各支部の Web サイトの統合整理。

3. 4 支部広報委員会との連携。

3. 西日本エリア（地域）（安藤眞吾理事・鬼田 勲エリア長）

公益目的事業

国際委員会

1. 本部国際委員会との連動、国際交流の企画。

2. 中国家具・インテリア産業視察ツアー企画。

3. 国際委員会の実施。

中四国委員会

1. セミナー開催と地域交流会を開催。

2. 中四国委員会開催。

事業委員会

1. LIVING&DESIGN-2012 連動プロジェクト企画。

2. 「日本の空間デザイン 2012」参加予定。

3. 事業委員会の実施。

研究・セミナー委員会

1. 大阪市立住まい情報センター、タイアップ事業の実施。

2. キッズインテリア教室開催、制作と展示。

3. 素敵な暮らしセミナー開催（3 回）JID フレンズ。

LIVING&DESIGN 特別委員会

1. LIVING&DESIGN-2012 連動プロジェクトの企画。

2. シティ会場（サテライト）にて展示会・セミナー等の企画。

JID-ACT Kansai

1. JID ACT-Kansai の活動に協力及び関西学生シンポジウムへの協力。

USD-0（大阪デザイン団体連合機構）

1. 理事会への参加。

共益目的事業

総務組織委員会

1. 支部総会、記念シンポジウム及び交流会開催。

2. 運営委員会、総務委員会実施。

3. 4 支部長会議開催。

広報事業

広報委員会

1. 関西事業支部ホームページの記事編集及びメンテナンス。
2. 広報委員会の実施。

3. 南日本エリア（地域）（川崎泰秀理事・江島太士支部長）

公益目的事業

1. インテリアデザインに抛り、生活文化の向上に寄与する事業を行う。
2. デザイン他団体とのコラボレーションの企画検討を行う。
3. シンポジウム・セミナーなどの講演会を計画。
4. 大川新春展会場での「2013 九州インテリアデザイン展」の開催を計画する。

共益目的事業

1. 会員拡大の為の提案、組織、例会の在り方検討と改革案作成。
2. 第 8 回「学生ファニチャーデザインコンテスト 2013」の開催。
3. 第 11 回「九州学生家具展示会の後援。
4. 賛助会員との交流及び関わりと研究会の検討。
5. ATC の会の運営に協力、助言を行う。

広報事業

1. 本部 HP との連携構築に協力する。
2. 支部 HP 運営管理と、会員への情報伝達の充実を図る。
3. JID ニュース各号「九州ページ」の企画、編集に協力。
4. 支部事業への案内や結果発表などの広報にて JID のデザイン活動・情報を発信する。

事務局

1. 本部事務局（峰尾武事務局長）

1. 本部・支部事業活動と財務運営の把握と管理、及び会計処理を行う。
2. 会員・所轄官庁、関連団体、関連業界及び一般等、内外の付託に対応する。
3. 総会、理事会等主要会議の立案、準備、処理を行う。
4. 公益法人制度改革関連業務及び事務処理を行う。
5. データベース化の推進とデータの提供及び制作物の頒布を行う。
6. 各種頒布物の販売を行う。

第 5 号議案

議事録署名人選任の件

当日出席の正会員の中から 2 名選出